

事務事業評価調書

事務事業名	千里ニュータウンまちづくり広域連携事業				
担当部名	都市計画部	室課名	計画調整室	室課長名	曾谷 博之

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成14年度	改正 内容	委員の役職名変更											
(2)	直近の改正	平成26年度													
(3)	根拠法令等	吹田市・豊中市千里ニュータウン連絡協議会則、千里ニュータウン再生指針													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	11							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民(主に千里ニュータウンの住民)・千里ニュータウンで活動する団体等・豊中市行政												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	千里ニュータウンの再生に向けて、吹田市、豊中市が市の行政区域を越えて情報交換や行政間の調整等を図り、共同で市民と連携した事業を展開し、よりよいまちづくりを目指す。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	千里ニュータウンの課題を抽出することにより、再生の工夫ができる。													
(7)	事業概要	吹田市及び豊中市が千里ニュータウンの再生にかかる相互の情報交換や必要な行政間の調整を行うとともに、両市の市民が一体となったまちづくり活動の支援や地域課題解消のための活動の支援事業に取り組む。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	8	項	5	目	1	大事業	6	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		265	214	265	264	265							
		人件費	職員数	人	0.50	0.70	0.50	0.50	0.50						
			総額(B)	千円	4,150	5,563	4,176	4,176	4,085						
		総事業費(A+B)		4,415	5,777	4,441	4,440	4,350							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		4,415	5,777	4,441	4,440	4,350							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			4,415	5,777	4,441	4,440	4,350								
財源計(C+D)		4,415	5,777	4,441	4,440	4,350									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 連絡会議等の開催、まちづくりイベントの共同開催、まちづくり団体の活動支援	目標値	(単位:回)	28.00	28.00	28.00
			実績値	(単位:回)	21.00	24.00	
			達成度(%)		75.0	85.7	
	目標値の積算方法	会議、イベント開催回数及びまちづくりに取り組む市民団体の会議参加回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	275.10	185.00	185.00
				一般財源(単位:千円)	275.10	185.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		まちづくり市民フォーラムや千里キャンドルロード実行部会等参加人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容 活動支援を行う市民団体が開催する千里ニュータウンのまちづくりに関するイベント、会議等参加人数	目標値	(単位:人)	375.00	375.00
	実績値			(単位:人)	360.00	450.00	
	達成度(%)			96.0	120.0		
	目標値の積算方法	まちづくり市民フォーラムや千里キャンドルロード実行部会等参加人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	16.05	9.87	9.87
				一般財源(単位:千円)	16.05	9.87	
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		まちづくり市民フォーラムや千里キャンドルロード実行部会等参加人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
①		活動内容				目標	
②	成果内容				達成状況		
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
評価の説明		千里ニュータウン再生指針に基づき、吹田市と豊中市が共同して市民に働きかける企画やイベントを実施することにより、まちづくりの担い手を育て、市民主体で千里ニュータウンの再生を推進する必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	計画調整室	事業名	千里ニュータウンまちづくり広域連携事業	事業区分	その他
事務事業番号	00695				

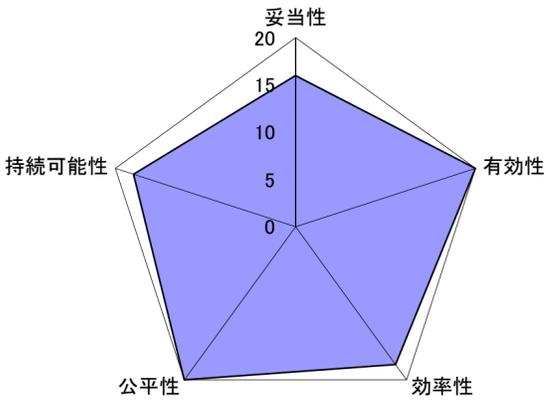
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	計画調整室	事務事業番号	00695
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>千里ニュータウンの再生にかかる課題解決のために、豊中市と連携して取り組んでいる。両市の市民を中心に、毎年まちづくりを考える市民フォーラムを開催し、市民意識を高める取組みを10年以上にわたって継続し、新たな活動の担い手が出てきている。また、千里ニュータウンまちびらき50年事業を契機に実施された「千里キャンドルロード」を毎年実施するために、市民が主体的に取り組む活動が生まれ、さらに千里ニュータウンのにぎわいづくりに貢献する活動につながっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	千里ニュータウンまちづくり支援事業				
担当部名	都市計画部	室課名	計画調整室	室課長名	曾谷 博之

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成12年度	改正 内容	「千里ニュータウンのまちづくり指針」について、区域の明確化とわかりやすい表現へ修正											
(2)	直近の改正	平成21年度													
(3)	根拠法令等	千里ニュータウン再生指針、千里ニュータウン再生行動計画、千里ニュータウンのまちづくり指針等													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民、事業者等												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	千里ニュータウンの良好な住環境を継承、創造していくための再生のまちづくりについて、地域課題の解決に向け、市民や事業者等と連携、協働して取組む。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	千里ニュータウンの良好な住環境の形成													
(7)	事業概要	千里ニュータウンの良好な住環境を継承、創造していくための再生のまちづくりについて、地域課題の解決に向け、市民や事業者等と協働して取組んでいる。また、大阪府や豊中市等と連携して「千里ニュータウン再生指針」の趣旨に沿った再生の取り組みを行うとともに、具体的な建替えや開発にあたっては、「千里ニュータウンのまちづくり指針」に基づき、技術的なことがらを指導している。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	8	項	5	目	1	大事業	6	中事業	1	小事業	2
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		1,966	1,357	500	256	304							
		人件費	職員数	人	1.30	1.70	1.30	1.30	3.50						
			総額(B)	千円	10,790	13,510	10,858	10,858	28,595						
		総事業費(A+B)		12,756	14,867	11,358	11,114	28,899							
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		(内訳)	市負担(D)		12,756	14,867	11,358	11,114	28,899						
			地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			12,756	14,867	11,358	11,114	28,899								
財源計(C+D)		12,756	14,867	11,358	11,114	28,899									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	千里ニュータウンの各住区では、「千里ニュータウンのまちづくり指針」に沿って地域住民と事業者等でまちづくりに関する話し合いが行われている。		目標	これまで育まれてきた千里ニュータウンのみどり豊かでゆとりある良好な住環境等の発展・継承	
	②	成果内容	多様な主体が話し合う場を設置して、よりきめ細やかなまちづくりを図る。		達成状況	まちづくり指針に沿った事業計画が行われている。(目標値、実績値ともに0)	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		千里ニュータウンの再生に向け、市民や事業者等が積極的に参画する場を設けることが、まちづくりには必要不可欠となっている。				

事務事業分析シート

所属名	計画調整室	事業名	千里ニュータウンまちづくり支援事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00696				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	計画調整室	事務事業番号	00696
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	10	公平性	5	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>地域での協議や意見交換の場を設けることは、市が市民とともに考えてきた千里ニュータウンの再生のまちづくりの考え方が、より広く地域に根差したものとなる機会となっている。こうした機会に得られた地域の想いは、本市をはじめ大阪府や豊中市等で構成された千里ニュータウン再生連絡協議会等の場において、地域の課題などの情報を共有することができるとともに、相互に連携した千里ニュータウンの再生事業の展開が可能となるなど、数値で表すことのできない効果を生み出している。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	北千里駅周辺活性化支援事業				
担当部名	都市計画部	室課名	計画調整室	室課長名	曾谷 博之

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成26年度	改正 内容	建築基準法の一部改正											
(2)	直近の改正	平成27年													
(3)	根拠法令等	都市計画法、道路法、建築基準法													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	11							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	千里北地区センター												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	活性化ビジョンの策定												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	にぎわいのある地区拠点の形成													
(7)	事業概要	<p>千里北地区センターにおける社会情勢の変化などによる商業機能の課題や、多様な住民ニーズに対応した公共施設整備等の課題を解消し、多様な主体と「活性化ビジョン」を策定するものである。 本ビジョンの策定に際しては、様々な事務が輻輳するため、それぞれの所管で定められた事務分掌に基づき、役割分担を認識した上で横断的な連携により遂行しようとするものである。</p>													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	8	項	5	目	4	大事業	4	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		6,118	6,030	4,531	4,091	98							
		人件費	職員数	人	1.50	1.90	1.50	1.50	1.50						
			総額(B)	千円	12,450	15,100	12,528	12,528	12,255						
		総事業費(A+B)		18,568	21,130	17,059	16,619	12,353							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		18,568	21,130	17,059	16,619	12,353							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			18,568	21,130	17,059	16,619	12,353								
財源計(C+D)		18,568	21,130	17,059	16,619	12,353									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(株)地域計画建築研究所 大阪事務所										
				②											
				③											
		主な委託内容		北千里駅周辺活性化ビジョン策定業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) の3が困難な場合	①	活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 北千里駅周辺活性化ビジョン意見交換会を1回開催 北千里駅周辺活性化ビジョン検討会議を1回開催 		目標	平成27年度末に「活性化ビジョン」を策定し、千里北地区センター再整備の基本的な方向性を示す。	
	②	成果内容	「活性化ビジョン」を策定し、民間の誘導や支援に活用する。		達成状況	平成27年度末に「活性化ビジョン」を策定。(目標値、実績値ともに0)	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		千里北地区センターを取り巻く社会情勢の変化や、地区センターの大半の土地を所有する一般財団法人大阪府タウン管理財団の所有地処分方針等に対し、本ビジョンを活用することで、これまで地区センターが担ってきた役割を継承するとともに、更なる活性化を目指したまちづくりを行っていくために、必要不可欠なものである。				

事務事業分析シート

所属名	計画調整室	事業名	北千里駅周辺活性化支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00700				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	計画調整室	事務事業番号	00700
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成27年度末に「活性化ビジョン」を策定し、計画通り進めることができた。 千里北地区センター用地の大半を所有する一般財団法人大阪府タウン管理財団の所有地処分の方針に対し、策定したビジョンを当該用地の売却条件に盛り込むこと、また、ビジョンを活用した民間誘導を図ること、地区センターの活性化に向けた検討体制、マネジメント体制を構築すること等が今後の課題である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	宅地化農地利用計画支援事業				
担当部名	都市計画部	室課名	計画調整室	室課長名	曾谷 博之

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成8年度	改正 内容	非訟事件手続法及び家事事件手続法の施行に伴う関係法律の整備等による改正					
(2)	直近の改正	平成23年度							
(3)	根拠法令等	農住組合法、都市計画法、生産緑地法							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	12	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	市街化区域内宅地化農地						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	無秩序な開発やスプロール化の防止と、調和のとれた良好なまちづくりの推進						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	調和のとれた良好な市街地の形成							
(7)	事業概要	市街化区域宅地化農地等の宅地化に伴う無秩序な開発やスプロール化の防止と、調和のとれた良好なまちづくりの推進のために、助言、指導、誘導等の支援を行う。							
(8)	H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	0	0	0	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施							
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	コンサルティング事業者				
				②					
				③					
		主な委託内容		調査・計画・助言業務					
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 宅地化農地等の相談	目標値	(単位:回)	3.00	3.00	3.00	
			実績値	(単位:回)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	相談回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) 困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
		達成度(%)		0.0	0.0			
の3が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	平成27年度は、相談が0件であった。			達成状況	農住組合法の改正や実績に合わせて廃止する必要がある。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		現在市内において農住組合はなく、また、平成23年5月より新たな組合設立ができなくなっていることや過去の相談実績から今後の相談もあまり見込めないため、平成29年度から事業を廃止します。					

事務事業分析シート

所属名	計画調整室	事業名	宅地化農地利用計画支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	01308				

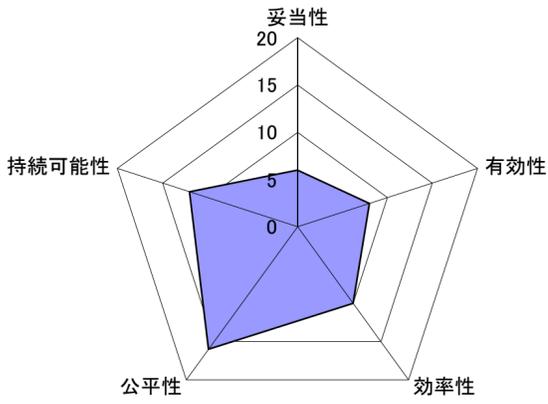
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	6	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 c. 施策の推進にはあまり効果がない事業である。(1点)	1	点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 c. 実施意義は薄れてきている。(1点)	1	点	
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点	
(2) 有効性 (20点)	8	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点	
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 c. 事業の進捗はかなり遅れている。(1点)	1	点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)	1	点	
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 c. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	1	点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点	
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点	
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点	
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点	
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 c. 現在の事業のあり方では、期待する事業効果は得られない。(1点)	1	点	
評価点合計 (100点満点)	52	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))			

所属名	計画調整室	事務事業番号	01308
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>現在市内において農住組合はなく、また、平成23年5月より新たな組合設立ができなくなっているため支援の方向性が見えにくくなっています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)